大学間交流会について（報告）

チャプター名	早大・日女大スチューデントチャプター
開催日時	2021 年 10 月 23 日　　15:00～17:00
場所	オンライン（zoom, oVice 会議上）
参加者	学生 15 名，教授 1 名（内応用物理会員 8 名）

開催目的

新型コロナウイルスの影響により、研究室の多くの学生は授業や研究を含め対面からオンラインに切り替わったことで意見交換による相互刺激を得ることなど自身の生活に多大な影響を受けている。そこで、SC の意義・活動内容の紹介・今後の SC 活動参加の促進・大学間の枠を超えたネットワークの構築を目的として本交流会を開催した。各研究室から多数の新規 SC メンバーを招き SC の活動紹介を行った。また、幅広い知識を身につけるために、異なる研究室・大学の間で各研究室紹介を行った。さらに、オンライン上で交流会を開くことで、研究室・大学の垣根を超えたネットワークの構築を目指した。

開催内容

以下の内容にて大学間交流会が行われた。

1. 早大・日女大 SC の沿革・活動紹介

今年度代表から、本 SC の活動目的・これまでの活動・今後の活動計画について、プレゼン資料を用いて報告が行われた。また、本 SC の早稲田大学顧問である渡邉先生から SC の設立の経緯や今後のビジョンなどを話して頂いた。

2. 各研究室紹介

本交流会に参加した 6 研究室の代表者の方より、自身の研究室のメンバー構成や研究内容、年間スケジュール、就職先等に関して、プレゼン資料を用いて研究室紹介が行われた。この研究室紹介を通して、各研究室の研究を細かく知ることができた。また、異なる分野の研究室が集まっていたことから、自分の研究分野に留まらず幅広い知見を身につけることができた。

3. 懇親会

オンライン上（oVice）で、学生間の懇親会を行った。oVice を本 SC の懇親会で用いることは初めての試みであったが、幹事を中心に使い方の説明をしたことで滞りなく行うことができた。

開催結果

今回の大学交流会を通じて、SC の意義や本 SC 活動を広めることが出来、今後の SC 活動参加の促進をすることが出来た。研究室紹介では、各研究室の取り組みを発表いただいたことで、研究の視野を広げることができた。懇親会では、異なる研究室・大学の枠を超えて、研究室紹介で理解しきれなかった内容やコロナ禍における研究室のイベント、今後の進路について積極的に議論していた点が印象であった。oVice を本 SC の懇親会で用いることは初めての試みであったが、これまでオンライン上で授業やゼミ、さらに就職活動を行っていたため、参加者もすぐに使い方に慣れて最後まで滞りなく懇親会を開催することができた。研究室・大学の枠の垣根を越えて議論を行ったことで、学生間のネットワークを新たに構築、広げることができ、本交流会の目的は果たされたと考える。

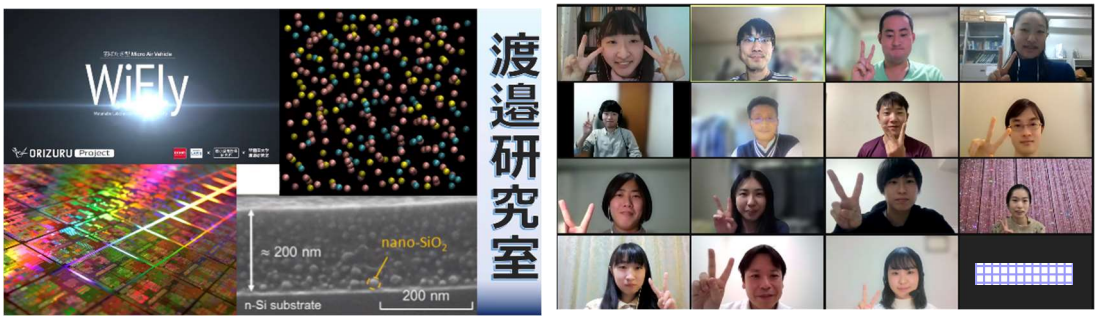

図. 交流会での発表の様子および集合写真

日時、場所、参加者、開催目的、開催内容、開催結果、写真をつけてわかりやすく記載願います。必要なことが書かれていない場合は再提出をお願いします。報告書は Web に掲載するので、詳細な個人情報等公開して困るような事を記述しないでください。報告書と決算報告書を分けてご報告ください。

※　なお、報告書がない場合、経費のお支払いができません。

※　懇親会は研究会等のおまけですので、懇親会中心の報告書はやめてください。